

フジヤマゲイシャ PART 2

京都市立芸術大学美術学部同窓会展

1980年代再考のための アーカイバル・プラクティス

会場：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
会期：2017年2月18日[土] - 3月5日[日] 11:00-19:00 (月曜休館)
主催 | 京都市立芸術大学、京都市立芸術大学美術学部同窓会
企画 | 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA、京都市立芸術大学芸術資源研究センター、状況のアーキテクチャー (Still Moving: The '80s) プロジェクト

入場無料

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts



@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY



芸術研
GEISHIKEN



文化庁

Hybrid Garden
Temporary Artists in Japan

1995]

京都市立芸術大学美術学部同窓会展 1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス

ポストモダン全盛期、欧米から輸入された概念に依らず独自の表現が進化していった1980年代。東山区今熊野にあった旧校舎から1980年に移転したばかりの西京区大枝沓掛町キャンパス（現校舎）では、学生たちが東京藝術大学との交流展「フジヤマゲイシャ」を企画するなど、非常に意欲的な活動を展開していました。それらの活動は、1980年代の日本美術を考える際の重要なキーワードである「関西ニューウェーブ」へとつながっていきます。本展では、この頃に制作された卒業生の作品ならびに本学芸術資料館収蔵品と、なった当時の卒業・修了作品を展示するとともに「フジヤマゲイシャ」に関連した資料も公開します。

当時から三十数年の時を経て、京都市立芸術大学は再び移転の時を迎えることになりました。会期中には、2023年に予定されているJR京都駅東エリア（崇仁地域）への移転に向けて、前回の移転前後の本学を中心とした動向を探り、その背景について改めて考えるための研究会も実施します。

| 出展作家

阿部 緑

飯塚二郎

石原友明

上野政彦

大谷史子

岡田英子

片野 満

久保隆三・沖勝之

栗本夏樹

小池一範

田川真千子

田所裕子

玉腰久美子

砥綿正之

長尾浩幸

橋本桂子

長谷川直人

前野正司

明賀政子

村上吉寿

状況のアーキテクチャー リサーチプログラム—Still Moving: The '80s

拡張された場におけるアートマネジメント人材育成事業
展覧会「1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス」出品作品や資料のほか、プロジェクトを進める上で集まってきたカタログやフライヤー、ポスターなどを検証しながら、京都を中心とした80年代の美術について考える機会を持ちます。

会場 | 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
日時 | 2017年3月4日(土) 14:00 -
主催 | 京都市立芸術大学 平成28年度 文化庁 大学を活用した文化推進事業

公開講座

| 会 期

2017年2月18日[土] - 3月5日[日]

11:00 - 19:00 (月曜休館) 入場無料

関連イベント

ギャラリートーク 2017年2月18日(土) 14:00 - 15:30

出展作家や当時を知る美術批評家などを交えたギャラリートークを行います。

ゲスト | 原久子 (大阪電気通信大学教授)

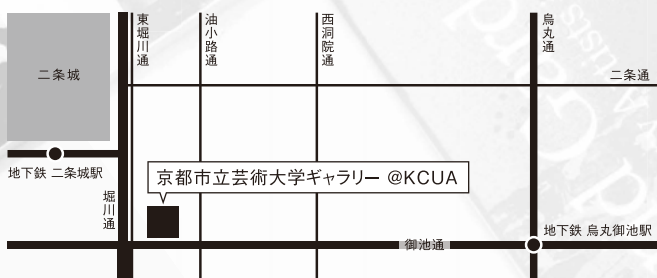
オープニングレセプション

2017年2月18日(土) 16:00 -

| 会 場

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

〒604-0052 京都市中京区御池押油小路町238-1



○地下鉄東西線「二条城前駅」2番出口より南東へ徒歩3分 ○市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ

Tel. 075-253-1509 E-mail. gallery@kcuu.ac.jp 詳細は <http://gallery.kcuu.ac.jp>